



6月に入り1学期も後半戦に突入しました。緊急事態宣言再延長でまだまだ気が抜けない状態が続いています。昼休みの黙食にも協力してくれる人が多いという声もきいています。この状態が終わるようにもう少しの間頑張りましょう。加えて、晴天が多く暑い日が続いています。マスクを常に着けている状態なので熱中症になる可能性も高くなります。今年もコロナ対策と熱中症対策の両立をしていきましょう。

また、中間考査の個票が返ってきました。よく出来た科目、あまり出来なかった科目といろいろあると思います。期末考査まで1ヶ月をきっていますので、中間考査の反省を生かして日々の学習も集中して取り組みましょう。

先月から各先生のメッセージを紹介しています。今月は学年主任の大林先生です。ぜひ読んでみて下さい。

本気の1年間

3年学年主任 大林 由佳

自分の偏差値では行きたい大学に行けないという現実を前に、かなりプレッシャーを感じながら受験勉強をした。英語は中学校レベルまで戻って学び直した。化学も友だちが親切丁寧に解説してくれたおかげで、「好きだけど苦手だった科目」から「好きである程度確実に点がとれる科目」になった。

そんな1年を過ごしてわかったこと。「勉強は、覚えているうちは身につかない。納得したときに身につく。」ということ。なぜその答えになるのか、「あっ、そっか」と思えたとき、今まで何となく覚えていたことがすべてつながっていった。

本当に必死で勉強した本気の1年間。偏差値も上がり、正解率も各科目15%上昇した。第1志望の大学に合格したわけではないけれど、「やればできる」という自信がついた1年間だった。

ただ、今思うことは、その本気の1年を「高校3年生」という1年間で過ごせばよかったということ。浪人なんてするもんじゃない。「落ちたら2浪」のプレッシャーはかなりきつかった。「なりたい自分になる」という自己実現をみんなにしてほしい。そのためにはこの1年を本気で過ごしてほしいと思う。

備えあれば憂いなし

6月に予定していた体育祭が10月に延期となりました。先日のブロック練習で、3年生が1、2年生にダンスを教えている姿を見て、「ブロックリーダーを中心にここまで準備をしたから、予定通り出来たら良いのに」と正直思いました。皆さんの中にも6月に体育祭をやりたかったと思う人がいるかもしれません。しかし、現在の状況では開催することは難しいです。

では、延期だからといってギリギリまで何もしないとどうなるのでしょうか？2学期に入ると、体育祭だけでなく文化祭もあり、文化祭と体育祭の間の期間はあまり長くありません。準備が不足してしまうと自分の思っていたものにならないことも考えられます。ことわざに「備えあれば憂いなし」という言葉があります。出来る時に準備を積み重ねることで、完成度が上がり自分の納得のいくものになっていくと思います。このことは様々なことにも当てはまりますし将来でも大切なことです。準備が出来る機会を無駄にせず行動してもらえたらと思います。

〈6、7月の予定〉

- ・19日(土)…登校日(オープンハイスクールは中止ですが授業ありなので注意)
- ・21日(月)…19日(土)の代休
- ・7月1日(木)～7日(水)…期末考査

